



11/27 3年がん教育講演会

県立こども病院小児血液腫瘍科の小林千恵先生を講師にお招きし、講演会を実施しました。熱心に先生のお話

に耳を傾けていました。

◆◆◆ 講師宛礼状から ◆◆◆

1組田崎さん:今日お話を聞いて、がんになる確率は男性、女性ともに私の予想より高かったのが不安になりました。ですが、退院した患者さんのお手紙を見て、がんになっても得られるものはあるし、治せる可能性も高くなってきているので少し安心しました。

2組大澤さん:がんについて詳しく教えてください、ありがとうございました。今まで身内でがんにかかり亡くなった人を何人か見てきて、こわいイメージしかありませんでした。しかし、がんになっても自分らしく前向きに生きることが大切だと知り、悔いのないように生きようと思えることができました。



3組中野さん:話を聞いて、がんとはどのようなものか、また、がんとの向き合い方について少し分かりました。身近な人や自分ががんになってしまったときには、今日のことを思い出して、希望を持つと思います。

4組星野さん:この度はお忙しい中、時間を作っていただきありがとうございました。「がん」について最初は特に何も考えていませんでしたが、講演を聞いて、身近に起こることだと実感できるいい機会でした。



11/30 生徒集会

赤中生の一員として、学年や性別を超えて、仲間を大切にしながら中学校生活を送れるように温かな人間関係を築くことをねらい、生徒集会が実施されました。

今回は体育館に集合せず、各教室で実施しました。生徒たちは本気じゃんけん、ビンゴゲームなどを行い、楽しいひとときを過ごすことができました。これも企画・調整・準備・司会進行を務めてくれた生徒会役員の方々のお陰です。本当にありがとうございます。さすがは赤中のリーダーです。

生徒会長島根さん:このコロナ禍で生徒が思うように生活できないことが長く続いています。その中で皆が笑顔になれる場を設けることができました。生徒集会後に「楽しかった！」などの声が多くあり、嬉しかったです。生徒会や学年中央委員、先生方で作り上げることができ、今の仕事を誇りに思います。



※5日(土)の防災体験の保護者参観中止につきましては急なご案内で申し訳ありませんでした。ご理解のほどよろしくお願いいたします。生徒の体験や授業は予定通り実施しますので、水又はお湯、おかず用の缶詰やふりかけなどを持たせてください。

※3年生の校外学習は次号掲載予定です。

